



FILE.03 株式会社 カスタネット

本連載記事では、京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)の「京の企業「働き方改革チャレンジプログラム」」に参加され、今も働き方改革に挑戦されている企業をご紹介します。

従業員のモチベーションを高め一人ひとりがより輝ける働き方を追求

ITやSNSで働き方を変える

オフィス家具・消耗品と防災用品を中心に100万アイテムを越える商品を販売する株式会社カスタネットは、社会貢献と事業のシンクロナイズを理念に掲げ、2001年に創業。榎木社長の信念に基づいた「ビジネスの中で社会貢献を」という先駆的な取組が全国から注目を浴びてきた。創業当初から従業員の待遇も手厚く、年間休日は120日、有給休暇の取得率も100%に近いという。また2年前には他社との横並びに縛られていた通販の「翌日配達」を廃止し、担当従業員の残業時間を10分の1に減らした実績も。さらに、近年試みているのが、従来の飛び込み営業から「インサイドセールス」への転換である。営業支援ツールとしてのSNS活用に着目、「社員でつくる動画」を3年前から毎日発信している。今ではツイッターのフォロワーが5万人を越え、日々反響のメッセージが届くように。加えて、近年の災害対策への関心の高まりとともに、全国の企業や自治体からの問い合わせも増えている。

社内のコミュニケーションを深め、働く意識を改革

そんな中で榎木社長は、歳月の経過とともに社員の間で創業の理念が薄れ、自身の思いが伝わりにくいもどかしさを感じていた。「ビジネスの根底にあるのは人と人とのつながり。社外はもちろん、まず社内でコミュニケーションを図り、情報や思いを共有することが基



本ですが、それが徹底されていませんでした。」そこで意識改革の一步を踏み出すべく、営業担当の上谷竜介さんが「働き方改革チャレンジプログラム」に参加。社外の人々との交流を重ねて得た新たな視点は、上谷さん自身を変えていったという。社内の「ビジネスチャット」を活用し、活発にコミュニケーションするようになった。さらに情報共有のためのルールを新たに設けることで、業務の抱え込みがなくなり、助け合う仕組みができた。「小さな会社だからこそ仕事への理解を深め、受け身の姿勢を脱却して、ゆくゆくは全員が利益管理できるようになってほしい。そこから生まれる働きがいは、個々の創造力や発信力も高めるはず。こういった仕事への向き合い方の見直しもまた、中小企業にとって欠かせない働き方改革だと思います」と榎木社長。

一人ひとりをもっといきいきと働ける環境を、という思いから打つ次なる一手は、社長の故郷・宮津の海に面した「リゾートオフィス」の設立と新しい労働環境の提案。カリスマ社長のやわらかな発想は、働き方そのものにも斬新な改革を加えていく。



榎木社長

株式会社カスタネット

代表者/榎木 力

住 所/京都市南区東九条西河辺町 33

T E L / 075-681-9100